

宮城小児保健協会主催
こどもWELL-BEING会議 IN MIYAGI

5歳児健診 多職種ネットワーキングカフェ

- 日時 2026年3月20日（金・祝）
- 場所 仙台駅前 AER6階 中小企業活性化センター
セミナールーム2（A+B）（対面+オンライン）
- 参加費 500円（対面のみ）
- 対象者 5歳児健診に携わるみなさま
- 定員 会場 60名/オンライン 30名
- お申込み方法 QRコードからお願いします⇒



プログラム

17:10-18:15 クロストーク+講演

【宮城県】「5歳児健診・これまでとこれから」

【仙台市】「WGで見えてきたことと今後」

【教育の現場から】

【特別講演】山形県小児科医会会長 橋本 基也先生

「隣県から学ぶ：多職種連携を進めるコツ」

18:20-多職種ネットワーキング・カフェ

※5-10人の多職種混合でテーブルごとに分かれ、
カフェ形式で情報共有を行います。



連絡先：宮城県小児保健協会事務局
東北大学大学院医学系研究科発達環境医学分野
TEL：022-717-8950 事務局佐藤

17:10-17:50 クロストーク詳細

【宮城県】「5歳児健診・これまでとこれから」

- 宮城県小児科医会会長 板野 正敬 先生
- 宮城県保健福祉部子育て社会推進課 日下 開 課長
- 岩沼市こども家庭センター 岩渕 千恵 保健師

【仙台市】「WGで見えてきたことと今後」

- 仙台市小児科医会会長 目時 規公也 先生
- うりぼうキッズクリニック院長 佐藤 亮 先生
- こども家庭保健課家庭支援係 佐藤 薫 主任 (WEB)

【教育の現場から】

- 美里町教育委員会 伊藤 克宏 教育長
- 角田光の子保育園 遠藤 恵美子 園長

17:50-18:15

【特別講演】山形県小児科医会会長 橋本 基也先生

「隣県から学ぶ：多職種連携を進めるコツ」

山形市では令和6年から5歳児集団健診を開始しました。これに際しましては、宮城県小児科医会の板野会長や永光先生にご視察をいただくなど、多くの先生方のお力添えを賜りました。現場では主に本間彰先生（ほんまこどもクリニック院長）が中心となって体制整備に奔走され、ようやく実施に至っております。

私は現在、山形大学小児科教授の三井哲夫先生、山形県医師会、そして県の担当者の皆様と協力し、県内35すべての市町村での実施に向けて推進に努めております。しかし、市町村の事情は様々です。小児科医の高齢化や地域偏在といった課題もあり、理想である「全県一律の集団健診」は一筋縄ではいかないのが現状です。それぞれの市町村に合った実施方法を、現場の皆様と一緒に検討していくことが、今の私たちの大きな課題となっております。

山形市小児科医会が平成25年に立ち上がって以来、私は医師会、母子保健課、教育委員会との「調整役」を10年ほど務めてまいりました。その中で痛感したのは、関連部署の皆様と「直（じか）につながる」ことの重要性です。常に情報を共有し、お互いの立場を理解し合える関係を築くことこそが、事業を動かす原動力になると信じています。そんな思いから、現在は県内4つの保健所や35市町村の担当者の皆様と、メールグループのような形でいつでも気軽に連絡し合える環境づくりに努めています。こちらからも積極的に情報を発信・共有し、風通しの良いネットワークを目指しております。市町村からも研修会開催などの要望をいただいております。本日のような多職種の皆様との取り組みは、大変有意義な一歩になると感じております。